



2025 年度 JMRC 北海道 第 2 回運営委員会議事録

日 時: 2025 年 4 月 7 日 (月) 20 時 00 分～22 時 42 分

場 所: WebEx による Web 会議

1. 出席者

永井運営委員長、石川副運営委員長、小池事務局長、乙供運営委員、松倉運営委員、秋葉ラリー部会長、古島オートテスト部会長、藤原顧問、恒松顧問

2. 部会報告

(1) ラリー部会

秋葉部会長より部会報告

ラリーセミナーを 8 月 11 日に開催予定。

(2) ジムカーナ部会

石川部会長より部会報告

昨日 4 月 6 日開催されたジムカーナセミナーについて。

募集人数 50 人、参加受付 52 人、当日キャンセル 6 人、当日参加 46 人。スタッフ・手伝い 26 人、3 グループに分かれて進行。参加申込時 32 人、当日 3 人が互助会に加入。参加者のうち、B 級ライセンス希望者 7 人。

次年度に向け、募集人員及び参加費用について、再検討する。

3 月 25 日開催された全国振興事業委員会について

オールスター、諸規則、各地区の状況等について報告がなされた。

(3) オートテスト部会

古島部会長より部会報告

4 月中、部会開催予定。支援金について取りまとめ中。北見からオフィシャル希望者あり対応済み。

第 1 戦参加者 70 名うち 8 名がライセンス取得。参加者のフォローをしていく旨、報告がなされた。

3. 道協総会における意見に対しての考察

(1) 運営委員会「クラブ代表者会議」が開催されていない。

対面で行う会議（総会と 8 月のオーガナイザー会議開催時）は傍聴可能とする。Web 運営委員会開催前に Web 代表者会議を行うよう調整する。

(2) 各専門部会員の選出方法

意見聴取、引き続き協議を行う事とする。

(3) 意見集約方法。

札幌以外からの意見集約について、クラブ代表者会議にその役割を持たせる。

(4) JMRC 北海道シリーズポイント取得資格

現行の集計方法では JMRC 北海道互助会加入者であることが条件になっているが、各部会ポイント集計担当者においての互助会加入者の把握が困難であるという事に対し、今後、各部会において精査し、2026 年度シリーズに適用できるポイント取得資格を検討する。

(5) 互助会加入証

互助会掛金のクラブ・団体割が無くなり、クラブ・団体の負担が増えるのではないかと、という指摘に対し、「団体申込は申請者に対し、まとめて加入証を送付する」から、希望に応じて「個人宛に送付する」という方法を初めていたが、周知不足である為、改めて「団体申込の場合、申請者の希望に応じ、申請者宛にまとめて送付するか、個人宛に送付するかを選択できるようにする」方法とする事とした。また、当日加入用紙について、Web 上にある個人用の加入申込書だけではなく、クラブ・団体用加入申込書を作成し、関係者に配布する事とする。

4. JMRC 北海道互助会決算

三木監査人より決算修正指摘があり、対応した。

5. 全国会議

(1) 永井運営委員長より、全国会議報告。

3月26日に開催。JMRC 全国年会費が5万円から8万円に増額となった。全国共済が3月末で終了し、各地区の預り金を返還する事となった。

(2) 藤原顧問より、ラリー全国会議報告。

3月25日に開催。ラリーストリームの補助が未定であり、補助が無くなる可能性がある。スターリンクの補助については、TRD様の補助により、全国で10台購入し、各地区1台ずつの割り当てが可能である。管理の問題から、北海道では使用しない予定である。

AQTECのスカラシップ制度についての説明があった。詳細については近日中公開予定。

MoSRA から現在開発中の新技術についての説明があった。

6. JMRC 北海道ホームページの不具合

ドメイン名の有効期限切れにより、3月25日よりホームページが閲覧出来なくなり、その対応に時間がかかっていたが、4月8日に復旧となった。

7. 次回運営委員会開催日

5月26日～29日の日程で調整を行い、Web 会議を行う。

以上で本日の議事を終了し運営委員長は閉会を宣した。